

未来の若い女性リーダーの養成 サディーク・オマル (ナイジェリア)

推定によると、ナイジェリアの人口の70%は若者であり、有権者の65%を占めています。ナイジェリアの人口はおよそ1億7千万人ですが、この国の大部分を若年人口が占めていることとなります。この若年人口のうち、半数以上は女性です。

私たちが暮らすナイジェリアは、今、変革の時を迎えています。若い女性たちは私たちの国の政治、社会、経済の分野における現在の傾向を目の当たりにし、リーダーに説明責任を求め、公然と声を上げています。こうした若い女性たちは、陰に隠れるレベルから、ジェンダーの平等や公平といった点において自らの可能性を認識するレベルへと進んだのです。

しかしながら、次世代の若きリーダーとして未来に向かって進んでいくには、何が重要なのかを明確につかんだ上で、一体となって行動することが必要です。そして、コミュニティや国家に対する献身的な高い意識を持って、変化をもたらす取り組みを開始・改善しなければなりません。さらに、思いやり、恐れぬ心、人の話をよく聞くスキルといった資質を身に付けなければなりません。そして何と言っても、他人を鼓舞する力を身に付けなければなりません。

遙か昔からリーダーシップのコンセプトには男性的なイメージが付きまとい、女性より男性のほうが良いリーダーになれると考えられてきました。ホジガード(2002)によると、ジェンダーとリーダーシップに関する社会的な慣習により、伝統的に、女性は排除されており、トップのリーダーシップは男性の分野と見なされています。私たちの社会では、男性がリードし女性は従うものと考えられています。私たちの国の地方の村々では、文字通り、男性が女性の前を歩く光景を目にすることも、珍しいことではありません。これにはさまざまな原因があるのですが、突き詰めれば、リーダーシップは男性が発揮するものという考えが深く根付いていることの証しといえるでしょう。リーダーシップそのものに対する文化的な解釈が変化をもたらすという議論もあります。リーダーシップを発揮するポジションに女性が就き始め、そして官民双方のガバナンスに関するあらゆる分野で、リーダーシップを発揮できるポジションを女性が目指し続けている今、ようやく、こうしたことに異議が唱えられ変化しつつあります。政治の世界では偉大な足跡が残されており、自由を求める闘いと民主的なプロセスの双方への女性の参画は注目に値するものです。

ナイジェリアの政治のリーダーや企業家として、特に、連邦、州、および地方政府の組織のトップや中小企業のトップとして、女性が果たす役割に、私たちはすでに気づいています。

まとめると、下記に挙げる特質が、次世代の若き女性のリーダーに求められるのではないのでしょうか。

(1) 情熱と鼓舞する力

仕事に対する情熱を持ち、自らの情熱により人びとのやる気を刺激する力を持っている。

(2) 明確な価値観

明確な価値観を持ち、それに従って生きている。自らの信念を裏付ける行動、社会の変化や変革を人びとに支持させるような行動を実践している。

(3) コミュニティや国家に対する献身

自らに焦点をあてるのではなく、他人に焦点をあてる。コミュニティの組織や活動を支える積極的なメンバーとなり、人びとに利益をもたらすために、惜しみなく時間や才能をささげる。

(4) 無私無欲の気持ちで他人を受け入れる

恵まれない人びと、障がいを持つ人びと、高齢者など、困っている人びとのために、無私無欲の気持ちでそうした人びとを受け入れ、そうした人びとのために役立つ行動を実践する。決して偏見を持たず、人びとのニーズを見極め、人びとのバックグラウンドや環境に左右されることなく、そのニーズに基づいて行動する。

(5) 障害を乗り越える力

たとえ大きな困難があっても、成功することは可能であると示す力。「自己効力感」、すなわち、自らを信じ、自分の国で、ひいては世界中で、変化を起こすことができるということを示す能力。他人に学びを鼓舞する能力、そして、ポジティブな価値観を日々実行できると示す能力。

ナイジェリアにおいて、女性リーダーの養成に素晴らしい進展が遂げられたのは、ンゴジ・オコンジョ・イウェアラ博士のように、模範的なリーダーシップを発揮できる女性リーダーが現れたことも、大きな要因です。博士は現在、経済担当調整相兼財務大臣を務めています。

オコンジョ・イウェアラ博士のような人びとのおかげで、ナイジェリア、さらにはアフリカ全体で、経済成長や政治・社会の発展におけるリーダーが活躍できる舞台が整いました。博士はこうした発展に向けて、これまでにも、そして今も、非常に大きく貢献しています。ナイジェリア初の女性の財務大臣（2003-2006）、世界銀行の専務理事、マケダ・ファンドのトップという、これまでの、そして現在のポジションにおいて、博士は汚職に毅然として反対の声をあげ、説明責任と透明性の向上を求める闘いを進めてきました。また、大変な努力と成功させるという強い決心をもって、ナイジェリアの成長と発展に多大かつ画期的な貢献を果たしてきました。

他の多くの人たちと同様に、この女性の博士は、社会的および文化的に当然とされる思い込み、仕事と家庭の選択もしくはバランス、リーダーシップを発揮するポジションにつきまとうストレス、といったものに関する障害を突破してきました。博士はリスクを恐れず評価を求め、自らが選択した分野でトップの座に就いたのです。博士は、高みを目指すナイジェリアの若い女性たちのロール・モデルです。よって、若い女性が果たすリーダー

シップの未来は非常に明るく、今や楽観的に考えることができるといえるでしょう。これは、今日の女性のリーダーたちの成果や評価が素晴らしいおかげです。

未来の女性のリーダーの新しいイメージが私には見えます。十分な教育を受け、公正な報酬のある安定した仕事に就く準備を整え、重要な決定を下したり意思決定のプロセスに参画する自由を持ち、コミュニティや公共の生活において積極的に活動し、そして、ガバナンスのあらゆる体制において認められ、そうした体制に参画する女性のリーダーの姿が目に見えそうです。